

第1日/6月5日 (セッション下: 司会・オーガナイザー)						
会場	1	2	3	4	5	6
13:00 - 14:30 I	C7 規制緩和と路線バスサービス1 喜多秀行(鳥取大)	(1)路線バスの規制緩和と自治体の責務 竹内伝史 岐阜大	(9)カーシェアリングの本格展開に向けた実務的検証 平石浩之 横浜国立大 大蔵泉・中村文彦	(14)中国自動車道宝塚トンネル付近の渋滞発生時の交通現象に関する研究 矢嶋尚彦 日本道路公団 明道俊治・辻光弘・森康	(20)交通調査データの整備と今後の展開 毛利雄一 IBS	(29)ITの進歩が物流交通に及ぼすインパクト予測とその評価手法に関する研究 谷口栄一 京都大 根本敏則・小谷通泰・山
		(2)都市部のバス交通に関する研究課題 中村文彦 横浜国立大	(10)業務交通を対象としたカーシェアリング実証実験 谷口栄一 京都大	(15)高速道路におけるサグ渋滞の顕在化要因分析 渡辺亨 日本道路公団 山岸将人・平井章一・泉	(21)都市圏PT調査データの整備と活用 中野敦 IBS	(30)ITを活用した搬入車両の路上待機削減システムの開発 西宮良一 運輸政策研究機構 玉井真一・服部尚道
		(3)地方部のバス交通に関する研究課題 喜多秀行 鳥取大	(11)相乗り型カーシェアリングシステム評価モデルの提案 張 峻屹 パシフィックコンサルタ 杉恵頼寧・藤原章正	(16)首都高速道路の合流部における交通容量の分析 割田博 首都高速道路公団 森田緯之、植田和彦、野	(22)道路交通センサデータの整備と活用 和久井博 社会システム	(31)車種・燃料種別均衡配分による首都圏貨物車交通政策の影響分析 兵藤哲朗 東京商船大 高橋洋二・苦瀬博仁・西
		(4)コミュニティ交通育成の社会的意義と課題 新田保次 大阪大			(23)大都市交通センサデータの整備と活用 工藤 ライテック	(32)企業行動構造を明示的に考慮した大都市圏物流施策評価マクロモデルの構築 細谷涼子 アジア工大 家田仁・福田敦・佐野
					(24)物流センサデータの整備と活用 山口 日通総研	

第1日/6月5日 (セッション下: 司会・オーガナイザー)						
会場	1	2	3	4	5	6
14:45 - 16:15 II	C7 規制緩和と路線バスサービス2 喜多秀行(鳥取大)	(5)バス非利用者のバス路線に対する不認知度と今後のバス利用意向との関連分析 金井昌信 群馬大 青島縮次郎・杉本直	(12)再配車によらない電気自動車の共同利用システムの規模拡大時の挙動の分析 山本俊行 名古屋大 北村隆一・中山晶一郎	(17)交通量感知器データを用いたマクロ交通流特性についての一考察 倉内文孝 京都大 飯田恭敬・嶋田博文・	(25)全国PT調査の経緯と概要 長瀬龍彦 国土交通省 高柳百合子	(33)Web統合配車システム(R)による改善効果とシステム構築における問題点 橋本忠夫 サントリー 佐藤馨一
		(6)盛岡市ゾーンバスシステムに関する調査 元田良孝 岩手県立大 中野孝之助・鳥居喜朗	(13)車両共同利用システムの配車のシミュレーション 島崎敏一 日本大 下原祥平	(18)飽和交通流率の基本値変動の実態解析 鹿田成則 東京都立大 片倉正彦・大口敬・河合	(26)交通エネルギー消費の推移と都市構造に関する研究 森本章倫 宇都宮大 古池弘隆	(34)建設産業における静脈物流システムの構築 中村裕幸 清水建設
		(7)公営バスと参入する民営バスの事業戦略に関するゲーム分析 秀島栄三 名古屋工大		(19)右折率を考慮した交差点容量の推計 吉井稔雄 高知工大	(27)行動群に着目した都市における滞留特性に関する研究 池田大一郎 岡山大 谷口守・久田由佳	(35)交通計画の視点に基づくロジスティクスモデルの概観 山田忠志 広島大
		(8)バス輸送の路線別生産性評価手法の構築 柿本竜治 熊本大 溝上章志			(28)全国PT調査の活用について 森田哲夫 IBS 原田昇	



第2日 / 6月6日 (セッション下: 司会・オーガナイザー)

会場	1	2	3	4	5	6
8:45-10:15 IV	邦明 (山梨大)	利雄一 (IBS)	サトル (東京大)	A3 (市街地再生促進策)	横7 (都市交通戦略)	1c1 (仁川国際空港)
	(36)交通行動分析と意思決定のモデル化	(56)道路交通需要予測における均衡配分の適用	(74)交通バリアフリー法の住民参加における計画・技術について	(90)費用負担問題を考慮した市街地再生促進策に関する検討	(104)都市交通戦略の近年の動向	(199)仁川国際空港におけるトランジット旅客流動に関する研究
	西野至 (都市交通計画研)	毛利雄一 (IBS)	秋山哲男 (東京大)	高木朗義 (岐阜大)	山中英生 (徳島大)	大井輝夫 (パシフィックコンサルタ)
	佐々木邦明	(57)均衡配分適用における課題と対応	山田稔・三浦春菜	平光紀明 (91)Optimal timing of infrastructure investment considering the synergy between transportation and urban development	(105)都市交通施策における事業評価	屋井鉄雄・権寧仁 (123)緑地環境および大気環境の動態把握のためのLUCC予測モデルの開発
	(37)ランダム効用理論と精神物理学からの動物選択行動研究への示唆	高橋勝美 (IBS)	児玉健 (日建設)	Sheilah A. (東京工大)	萩島尚之 (横浜市)	土井健司 (香川大)
	藤井聡 (東京工大)	(58)発展的均衡配分の適用と課題 - 車種別時間帯別配分 -	日建設	東京工大	横濱市	香川大
	竹村和久	吉田 (インテルテック)	松本長兵衛・福岡	上田孝行	長崎弘・小山光昭	(124)アジアのモータリゼーションと自動車排出ガス予測
	(38)選択行動モデルへの社会的相互作用の導入可能性		伊藤将司 (福山コンサルタンツ)	榊原弘之 (山口大)	(106)都市交通施策の計画手法	廣田恵子 (日本自動車研)
	福田大輔 (東京工大)			山口大	片山貴美・筒井豊彦	湊清之・土井健司
	上野博義・森地茂					
	(39)意思決定方略の仮説が個人行動モデルに及ぼす影響の実証的分析		(77)交通バリアフリー基本構想策定におけるワークショップ方式による住民参加に関する報告	(92)市街地再生のための家屋の維持管理に関する意思決定モデル	井上唯文 (札幌市)	
	倉内慎也 (名古屋大)		藤策村定 (インテルテック)	榊原弘之 (山口大)	片山貴美・筒井豊彦	
	名古屋大			(93)ポスト右肩上がり時代の土地利用更新		
	三古展弘・森川高行・大			紙田和代 (東京大)		

第2日 / 6月6日 (セッション下: 司会・オーガナイザー)

会場	1	2	3	4	5	6
10:30-12:00 V	章正 (広島大)	大c2 (MPEC)	サトル (宇野幸治)	大b2 (密集市街地)	大A5 (交通環境)	2c1 (フィリピン)
	(40)アクティビティデータデータの生活行動分析への適用性	(59)都市鉄道整備における費用負担スキームの比較分析	(78)市民の手でつくられる吹田市の交通バリアフリー	(94)提言: 密集市街地の再生へ向けて - オーガナイザー: 村橋正武 (立命館大学)、提言論文作成ならびに討論参加者: 家田仁、岸井隆幸、多々納裕一、谷口守、高木朗義、宇治田和、紙田和代	(107)都市構造および交通・民生施策による環境負荷削減の定量評価	(125)フィリピン地域間産業連関表を利用したエネルギー効率改善による環境負荷軽減の効果に関する分析
	西井和夫 (山梨大)	鈴木崇児 (中京大)	高橋富美 (建設技術研究所)		桐山孝晴 (国土交通省)	川島啓 (政策科学研)
	佐々木邦明・今尾友絵	(60)MPECに基づく立地均衡分析	宇野幸治・長野紀章・新富安浩 (オリエンタルコンサルタ)		権藤公貴・片岡孝博	内山洋司・土井健司 (126)外ロモニラにおける沿道SPMの観測と交通シミュレーション
	(41)業時間帯配分理論の提案	森杉雅史 (名古屋大)	富安浩 (オリエンタルコンサルタ)		(108)土地利用の誘導と規制を考慮した交通環境負荷の少ない都市構造に関する研究	岩倉成志 (芝浦工大)
	張峻峻 (パシフィックコンサルタ)	(62)パレート改善を達成するハイブリッド・スキームの分析	藤策村定 (インテルテック)		吉田真紀 (ライテック)	屋井鉄雄・平田輝満
	張峻峻 (パシフィックコンサルタ)		藤策村定 (インテルテック)		森本章倫 (古池弘隆)	(127)途上国における公共交通の燃料転換施策とその影響-デリーを例に-
	(42)IT時代のアクティビティデータの収集・活用	赤松隆 (東北大)	本田恵子 (交通エコロジー財団)		森慶彰 (東京商船大学)	中川義也 (パテコ)
	大森宣暁 (東京大)	早崎俊和	秋山哲男・山田稔		苦瀬博仁	小島宗隆・輪湖信一郎
	(43)生活活動シミュレータによる交通需要予測の有効性と限界		(81)守山市交通バリアフリー基本構想の策定における住民参加・当事者参加の取り組み			
	藤井聡 (東京工大)		石塚裕子 (八千代エンジニアリング)			
	藤原		三星昭宏・高木智史・藤			

第2日 / 6月6日 (セッション下: 司会・オーガナイザー)

会場	1	2	3	4	5	6		
13:30 - 15:00 VI	C 9  T D M の た め の 行 動 変 容 研 究 1  藤 井 聡 (京 都 大)	(44)ライフスタイルからみた個人交通行動に関する基礎的考察 水谷香織 岐阜大  秋山孝正	(61)交通安全対策の組み合わせ最適化に対する免疫アルゴリズムの適用 秋山孝正 岐阜大  小川圭一・寺嶋真穂	(82)高齢者・障害者等へのアンケートに基づく鉄道施設重要度の分析手法 鈴木義康 日建設計  三星昭宏・児玉健・野村貴史	(95)都市再生推進に関する地下空間利用評価手法の研究 西田幸夫 熊谷組  田中正・西淳二	(110)交通環境負荷とコンパクトシティに関する研究動向と課題 森本章倫 宇都宮大  篠崎友紀 岡山大  谷口守・阿部宏史	SS 6  土 木 計 画 と 国 際 協 力 1  林 良 嗣 (名 古 屋 大 学 大 学 院)	技術協力の成果と今後 出演: 林良嗣(名大)
		(45)行動の変化を明示的に考慮した交通機関選択モデルの提案 張 峻屹 パシフィックコンサルタ  杉恵頼寧・藤原章正	(63)動的最適化モデルによる道路整備と環境保全への効率的投資配分の検討 武藤慎一 大阪工大  高木朗義・酒井祐輝	(83)高齢者・障害者の生活活動・交通行動分析のための手法とデータ需要 大森宣暁 東京大  岸邦宏・佐藤馨一	(96)地下空間を活用した都市再生に関する研究 金田一淳司 北海道大  関口佳司 関口景観研究所  北村真一	(111)都市環境とコンパクト性のトレード・オフに関する研究 篠崎友紀 岡山大  谷口守・阿部宏史		
		(46)TDMの心理的方略"TFP"の手法と効果に関する研究 谷口綾子 北海道大  原文宏・高野伸栄・加賀屋誠一	(64)河川水質改善のための汚濁負荷削減策の効率的スケジュール 高木朗義 岐阜大  武藤慎一・上村高大	(84)交通サービス水準の制約により潜在化した交通需要の分析 森山昌幸 広島大  藤原章正・杉恵頼寧	(97)地下施設建設事業における評価項目の体系化 関口佳司 関口景観研究所  北村真一	(112)地方都市におけるコンパクトシティ実現のための居住誘導策とその効果に関する分析 古澤浩司 群馬大  杉本直・青島縮次郎		
		(47)TDMの心理的方略"TFP"の効果継続性に関する研究 谷口綾子 北海道大 原文宏・高野伸栄・加賀	(65)最適制御MPECモデルによるフレックスタイム制度下の鉄道通勤・始業時刻分布の分析 吉村充功 広島大 奥村誠	(85)潜在需要を考慮した交通パラフリー計画の評価理論 佐藤寛之 京大 青山吉隆・中川大・松中	(98)今後の地下街のあり方について 富田剛久 都市地下空間活用研究 西田幸夫	(113)都市のマスタープランにおける都市将来像としてのコンパクトシティ 神谷和彦 武蔵工大 中村隆司		

第2日 / 6月6日 (セッション下: 司会・オーガナイザー)

会場	1	2	3	4	5	6		
15:15 - 16:45 VII	C 9  T D M の た め の 行 動 変 容 研 究 2  藤 井 聡 (京 都 大)	(48)TFPの手続き簡略化による態度と行動変容に及ぼす影響 松村暢彦 大阪大  谷村和則・新田保次	(66)公共事業の段階的評価プロセスにおける事後評価のあり方 小路泰広 国土総合研  塚口博司	(86)短期的な改善を前提とした街路の歩行環境評価に基づく街路ネットワーク整備検討手法に関する研究 飯田克弘 大阪大  塚口博司	(99)都市再生と地下空間利用?名古屋駅周辺に焦点を当てて? 鈴木達之 名古屋市  早瀬満晴・櫻井拓也	(114)交通アセスメントの概要とマニュアル化 久保田尚 埼玉大  尾崎晴男・西宮良一・古	SS 6  土 木 計 画 と 国 際 協 力 2  林 良 嗣 (名 古 屋 大 学 大 学 院)	国際協力と教育・研究 出演: 北村隆一(京大)
		(49)環境に関する協力的行動が自動車利用の抑制に与える影響・効果に関する研究 高山純一  金沢大	(67)公共事業の事後評価手法とその課題 長谷川俊英 UFJ総合研究所  石川良文・太田勝久	(87)ドイツにおける交通パラフリーの整備手法 伊藤雅 和歌山高専  和歌山高専	(100)首都圏の都市再生を促す地下利用プロジェクトの提案 内野善之 日本プロジェクト 松岡泰彦	(115)交通アセスメントに用いる発生・集中単位の比較 西宮良一 運輸政策研究機構  古明地哲夫		
		(50)説得的コミュニケーションによる5号湾岸線利用促進の試み 西林基彦 阪神高速道路公団	(68)広域幹線道路整備の事後評価 太田勝久 UFJ総合研究所	(88)高齢者・障害者のニーズを考慮した駅ターミナル評価に関する研究 北川博巳 東京都老人総研	(101)都市再生と地下空間 岸井隆幸 日本大	(116)大規模小売店舗立地法に基づくソフト的対策のシミュレーション分析 坂本邦宏 埼玉大		

都大

土居聡・藤井聡・大藤武
(51)自動車免許非保有者に対するコミュニケーション実験
西中卓也

し

石川良文・長谷川俊英
(69)事後評価のためのモデル分析 - 論点整理 -
上田孝行

青山吉隆

三星昭宏・児玉健・野村
(89)鉄道駅におけるエレベーター・エスカレーター整備の便益計測手法に関する検討
堀健一

大

大沢昌玄

埼玉大

広瀬一寿・久保田尚
(117)大規模開発に伴う交通影響評価の空間的・時間的変化に関する研究
関達也

し


阪急電鉄 藤井聡・北村隆一	東京工大	京 三菱総研 秋山哲男・磯部友彦・林		警視庁 森本章倫・古池弘隆	
------------------	------	-----------------------	--	------------------	--

第2日／6月6日（セッション下：司会・オーガナイザー）

会場	1	2	3	4	5	6	
17:00 - 18:30 Ⅷ	大A 8 (52)甲府P&BR社会実験の課題とその評価 西井和夫 山梨大 佐々木邦明・森川健 (53)地方都市通勤バスの社会実験による効果と評価 松本昌二 長岡技術科学大 内山徹・山井正樹 (54)多様な施策パッケージによる交通社会実験の取組-豊中駅前地区の経験と課題 土井勉 千里国際情報事業財団 西井和夫 (55)TDMの社会実験と公共受容 藤井聡	大A 1 (70)マクロ経済学に見る公共投資の意義 上田孝行 東京工大 (71)交通施設整備評価におけるマクロ計量モデルと一般均衡モデル 佐藤徹治 IBS 武藤慎一・上田孝行 (72)社会資本整備の世代間厚生分析-世代重複型応用一般均衡モデルの開発と応用- 小池淳司 鳥取大 岩上一騎・上田孝行 (73)インフラ会計の役割と方法論 小林潔司		館c 大4 (102)災害調査の体系化に関する一考察、塚口博司(立命館大学)、塚本直幸(大阪産業大学)、日野泰雄(大阪市立大学)、小谷通泰(神戸商船大学)、福島徹(姫路工業大学)、飯田克弘(大阪大学)、倉内文孝(京都大学)、中谷充宏(大阪市)、古家昇(大阪市)、長谷川和昭(京都市)、黒木紀男(ニュージエック)、系賀良悦(日建設計)、有賀義明(電源開発)、玉本昌司(建設技研)、三村卓(西武建設) (103)災害情報の収集・提供におけるヴァーチャルリアリティ(VR)技術の適用性について 黒木紀男 ニュージエック (172)災害リスク低減に果たす情報の役割に関する一考察 塚本直幸	屋A 2 (118)今後の計画づくりへの第三者の参画 松浦正浩 三菱総合研究所 (119)PIのための人材育成プログラム 矢嶋宏光 (財)計量計画研究所 (120)コミュニケーションからみたPI推進への発想 梅本 嗣 (株)博報堂 (121)コミュニケーションツールとしてのVRの活用 加藤一郎		

一 梨	東京工大	一 京大	京都大	一 命	大阪産業大学	一	セテック	
			横松宗太					

第3日／6月7日（セッション下: 司会・オーガナイザー）

会場	1	2	3	4	5	6
8:45-10:15 IX	京大 b 9 I T S 技術を用いた信号制御の高度化	c 5 都市景観分析の現状と課題	一般論文部門 a   1 財源・制度	一般論文部門 c   1 防災計画	一般論文部門 f   6 交通施設計画の提案	一般論文部門 f   1 港湾計画
	(128)ITSセンシング技術を活用した交通信号制御アルゴリズム 赤羽弘和	(143)景観に配慮した野立広告物のあり方に関する研究 山本武志	(157)都市整備事業の合理的推進のための財政シミュレーションシステム概念と実証的分析 森下剛志	(173)災害リスクマネジメントと災害会計 横松宗太	(187)普通自動車専用立体交差導入の評価に関する研究 小田 崇徳	(202)航路に関する安全性から見た評価方法の提案 樋口 直人
	千葉工大 千葉工大	日本海コンサルタント	立命館大学大学院	鳥取大	日本大学大学院	東北大学
	桑原雅夫・越正毅	松本昌二・及川康	春名攻・渡邊朋彦	小林潔司	福田敦	稲村肇
	(129)リアルタイム交通信号最適化制御 織田利彦	(144)GISを利用した滋賀県の景観構造の分析について 田中みさ子	(158)米国における産業構造転換後の低・未利用地の再開発に係る政策展開 高橋 一樹	(174)高規格堤防の洪水被害軽減便益評価法に関する研究 玉井 昌宏	(188)代替燃料車のための燃料スタンドの配置に関する一考察 古屋秀樹	(203)大手船社/アライアンスによるメガシップ導入の要因分析 石黒 一彦
	松下通信工業	大阪産業大	地域振興整備公団	大阪大学	筑波大学	東北大学大学院
	岩岡浩一郎 (130)ROND0 (Rolling-horizon based Dynamic Optimization of signal control) リアルタイム情報を用いた次世代信号制御方式 小林雅文	(145)奈良平野における緑地景観の現状と課題 土橋正彦	(159)特定地域振興政策の政策効果に関する研究ー産炭地域振興政策による各産炭地域の政策効果についてー 岩本 直		石田東生・岡本直久・小	花岡伸也・小坂浩之
	住友電気工業	大阪産業大	地域振興整備公団		(189)首都圏駅前の交通結節機能の必要性と役割分担に関する基礎的分析 紀伊 雅敦	(204)多地域一般均衡貿易モデルにおける地域間輸送費用の取扱方法の検討 石黒 一彦
	宇佐美勤・大田利文				(財)運輸政策研究機構	東北大学大学院
					中川大(京大)	稲村肇

第3日／6月7日（セッション下: 司会・オーガナイザー）

会場	1	2	3	4	5	6
10:30-12:00 X	A 9 合流部ITSの効果分析と評価	c 5 都市景観分析の現状と課題	一般論文部門 a   2 公共投資・公共事業	一般論文部門 c   2 環境計画	一般論文部門 e   1 交通行動の詳細	一般論文部門 f   2 鉄道交通需要
	(131)一般道織込み部におけるコンフリクト分析と速度調整モデルの構築 宇野伸宏	(147)歴史的街並みにおける景観形成活動の波及とプロセス-佐賀市柳町を事例として 金澤成保	(160)誤差の空間相関を考慮した線形回帰型地域予測に関する研究 井上 亮	(175)持続可能な都市の評価指標に関する基礎的研究ーヒューマニティー・タウンを指してー 石井 裕介	(190)PHSと自営アンテナを用いた位置補正に関する研究 鈴木 明宏	(205)北陸新幹線敦賀以西のルート案に関する研究 西浦 智
	京都大	大阪産業大	東京大学大学院	大阪市立大学大学院	株式会社アイ・ティ・リサーチ	東鉄工業株式会社
	飯田恭敬・安原真史・菅		清水英範	日野泰雄・内田敬	西山良孝・中嶋康博・牧	波床正敏
	(132)高速道路合流部におけるミクロ交通流シミュレーションモデルの開発?走行支援システムの評価に向けて? 清水哲夫		(161)サンク費用を考慮したプロジェクトの事前・再評価モデル 織田澤 利守	(176)一般廃棄物処理システムの計画モデルを用いた実証的研究 立花 潤三	(191)移動体通信機器を用いた歩行者交通行動のモビリティ指標化に関する基礎的研究 中嶋 康博	(206)都市間公共交通網の分析におけるゾーニングの影響に関する研究 波床 正敏
	東京大		京都大学大学院	立命館大学	(財)計量計画研究所	大阪産業大学
	平岩洋三	土橋正彦	小林潔司	春名攻	西山良孝・矢部努・牧村	池田篤司
	(133)ITS技術が流入部のサービス水準に及ぼす影響評価 喜多秀行		(162)対外直接投資が日本のマクロ経済に与える影響分析 松木 清徳	(177)廃棄物分析用の地域間産業連関動定体系の提案 加河 茂美	(192)効果的なTDM施策の提案をにらんだAD調査の試み 黒水 健	(207)豊橋市における路面電車の運行・利用実態の分析・評価と改善策に関する検討 小松 広和
			柏谷	奥田隆明(名古屋)	朝倉康夫	杉恵頼寧

行  
(鳥取大)

鳥取大
塩谷直文・前田信幸

大阪産業大)


増男  
(愛媛大)

東北大学大学院
稲村肇・石黒一彦

屋大)

国立環境研究所
稲村肇・森口祐一

(神戸大)

パシフィックコンサルタンツ
玉木博之・神馬強志・玉

広島大)

株式会社岡谷組
廣島康裕

第3日/6月7日 (セッション下: 司会・オーガナイザー)							
会場	1	2	3	4	5	6	
13:00 - 14:30 XI	b10 シミュレーションの適用 吉井稔雄(高知工科大)	(134)交通シミュレーションモデルの適用と課題 花房比佐友	(148)ニューラルネットワークを用いた信号制御の自動最適化 三井達郎	(163)公共事業のイメージが事業に対する態度に与える影響 青木 俊明	(178)LRT導入による地域交通体系改善を目指した市民団体に関する考察-枚方・LRT研究会を中心として- 平田 暁彦	(193)右側通行する自転車利用者の危険度評価 濱崎大輔	(208)来街者の行動・意識から見た都心部街路空間の評価に関する研究(br)-福井市トランジットモール等社会実験を事例として-(br) 堀井 茂毅
		熊谷組 熊谷香太郎・永田尚人	科学警察研究所 奥谷 巖	東北工業大学 松井健一・西野仁	近畿大学大学院 田畑喜功・三星昭宏	佐賀大学 清田勝・斎藤健治・渡辺	福井大学 川本義海・川上洋司
		(135)都市内高速道路シミュレーションモデルにおけるパラメータの設定について 島崎雅博	(149)ファンジ制御方式を用いた都市高速道路流入制御の検討 瀧日良治	(164)交通施設のバリアフリー化に対する利用者意識構造分析-移動特性の異なるグループ間の比較- 磯部友彦	(179)PI手法を用いた公共事業に関する事例調査について 友澤 隆則	(194)高齢者にやさしい自転車道整備基準を提案するための自転車操作分析と調査 斎藤 健治	(209)都心部商業地区における歩行者回遊行動の分析 蔵方 博史
		パシフィックコンサルタンツ 森内正寿、吉井稔雄、小	交通制御・交通管理 岐阜大学大学院 秋山孝正	意識調査・コミュニケーション 中部大学 早川昌毅	⑭富士建設コンサルタント 白木渡・森下一男・二神	佐賀大学 清田勝・井上伸一・細谷	株式会社東神設計事務所 山川仁・高見淳史
		(136)マイクロ交通シミュレーションの適用事例と今後の開発課題 飯田祐三	松井寛(名城大学) 河合芳之	三星昭宏(近 京都大学大学院 羽鳥 健史	(180)PI参加者の行動および心理的現象等に着目したPIプロセスのチェックリストの提案 澤田 俊明	(195)地方都市における自転車走行環境改善の効果計測に関する基礎的分析 恩賀 薫	(210)中心市街地のトランジットモール化が都市アクセス交通に及ぼす影響に関する研究(br)-福井駅前電車通りを事例として-(br) 川本 義海
		中央復建コンサルタンツ 森津秀夫・野寺寿雄・宇	東京都立大学大学院 鹿田成則・片倉正彦・大	京大 松島格也・小林潔司	日本建設コンサルタント(株) 山中英生・大谷英人・角	前豊橋技術科学大学 廣島康裕	福井大学 松井達也・本多義明
第3日/6月7日 (セッション下: 司会・オーガナイザー)							
会場	1	2	3	4	5	6	
14:45 - 16:15 XII	大A10 シミュレーションの周辺技術	(137)ベンチマークデータを用いた交通シミュレータの検証とその普及に向けた課題 澤 充隆	(151)もしもビット設置に対する利用者の評価 浜岡秀勝	(166)区間整理事業における施工計画立案のための工事・移転順序の規則化 浅野 誠	(181)既成市街地における敷地統合・建物更新を対象とした詳細シミュレーションシステムの構築 杉木 直	(196)誘発交通を考慮した混雑地域における道路整備の利用者便益推定 円山 琢也	(211)コミュニティバスに関する基礎的研究~大阪市を事例として~ 永石 英介
		ドーコン 中村仁紀・山本郁淳	秋田大学 清水浩志郎・木村一裕	玉野総合コンサルタント 出口近士・吉武哲信	群馬大学大学院 宮本和明・村田泰洋	東京大学大学院 原田昇・太田勝敏	近畿大学大学院 三星昭宏
		(138)OD交通量推定手法による現況再現 北岡広宣	(152)K&R車両の挙動分析に基づいた駅前広場運用代替案の評価~バス交通円滑化の視点から~ 堀田紗絵子	(167)契約リスクと損害賠償 大西 正光	(182)GISを用いた地価形成要因モデルによる低・未利用地の有効利用の効果分析 伊東 大悟	(197)Telecommunications and Activity System Relationship Senbil Metin	(212)高齢者のゾーンバスシステムの評価に関する研究 元田 良孝
		豊田中央研究所 寺本英二・小根山裕之	交通管理・交通 日本能率協会総合研究所 山川仁	市場と公共計画 京都大学大学院 大本俊彦・小林潔司	土地利用分析 徳島大学大学院 廣瀬義伸・近藤光男・田	多次元行動の分 京都大学大学院 北村隆一	生活交通 岩手県立大学 田中綾

1 片倉正彦 (東京都)	(139)動的交通シミュレーションの再現性指標に関する適正性の考察
	堀口良太
	アイ・トランスポート・ラボ

安全 大蔵泉 (横浜市 大)	(153)歩行者事故から推定した運転者の視線に関する一考察
	萩田賢司
	科学警察研究所
	森健二

家田仁 (東京大)

(168)規制緩和による競争市場でのタクシー交通の運用条件	塚田 悟之
	日本無線株式会社
	高田邦道

GIS 清水英範 (東京)	(183)地方都市郊外部における大規模農業公園開発をインパクトとする田園地域都市整備の方法論
	藤本 尚也
	立命館大学大学院
	春名攻・大谷武史

析 森地茂 (東京大)

(198)都市圏レベルの統合型利用者均衡配分モデルの実用化とTDM政策への適用に関する研究	三村 健太郎
	株式会社長大
	森川高行

哲男 (東京都立大)

(213)スクールバスとコミュニティバスの統合への取組と効果に関する研究	猪井 博登
	大阪大学大学院
	新田保次・藤井嘉彦

立						
---	--	--	--	--	--	--

第3日／6月7日（セッション下：司会・オーガナイザー）

会場	1	2	3	4	5	6	
16:30 - 18:00 X III	（東京0都立大） A1 小川圭一 岐阜大 秋山孝正 （141）ニューラルネットワークを用いた都市高速道路における時系列流入交通量予測の適用性の検討 奥嶋政嗣 日本総合研究所 大窪剛文・大藤武彦・土 （142）大規模ネットワークへの適用時に高い再現性を確保する動的ネットワークシミュレーションモデルの提案 吉井稔雄 高知工科大	（一般） 京都大学大学院 清水英範・前田亮 （155）都市内道路施設におけるITS（ETC技術）を活用した今後の新しい展望 中野雅弘 大阪産業大学 （156）プローブカーデータを活用した都市内一般道路のQ-V特性について 田宮佳代子 国土交通省国土技術政策 瀬尾卓也	一般論文 文部門 d1 1 景観分析 川崎雅史（京大）	（169）計画強度の異なる繁華街における街路構成の実態分析 小野 公嗣 東北大学 平野勝也 （170）写真調査によるダム空間の景観構造に関する研究 井出 康朗 国土交通省 須田清隆 （171）事象に着目した眺望景観に関する一考察 一軍事的知見を参照して一 星野 裕司 熊本大学工学部 小林一郎	船一般論文 文部門 b1 1 都市の魅力 苦瀬博仁（東京商） （184）都市型エコ・ツーリズムに関する研究～京都市を事例にあけて 森井 健策 株式会社新東通信 笹谷康之 （185）都市の魅力再考～「夜の魅力」の必要性と重要性一 大矢 正樹 （社）システム科学研究所 北村隆一 （186）アクティビティの違いを考慮した都市の魅力形成における交通の寄与に関する分析 張峻屹 パシフィックコンサルタ 玉置善生・黒水健・高野伸栄	大一般論文 文部門 e1 4 公共交通計画 山中英生（徳島） （200）新幹線と航空が競合する都市間における交通機関選択モデルの構築 寺部 慎太郎 東京大学大学院 加藤 渉 （201）統合型需要モデルを用いた高速鉄道プロジェクトの需要分析 時田 知典 パシフィックコンサルタンツ 森川高行・倉内慎也・姚	一般論文 文部門 f1 5 バス交通 竹内伝史（岐阜大） （214）地方都市における自由目的交通の実態と公共交通改善策の効果に関する分析 LIM IV 豊橋技術科学大学 廣島康裕・大木健司 （215）バス交通に関する自治体の取組の現状と計画情報の作成について 高野伸栄 北海道大学 （216）地方バス路線の特性分析に関する一考察 加藤 哲男 名古屋産業大学 川本義海・本多義明

スペシャルセッション内容紹介

SS1	溝上章志	（1）何らかの方法でVICISの社会的効果を評価し、その導入便益を定量的に明らかにしたい。（2）公共による従来のVICISの運用方式ではその効果は発現せず、民間に情報収集・提供・コンテンツを委ねた方がよいかもれない、実際にそのように事は進行している。（3）とは言っても、このままVICISを死なせるわけにはいかないだろう。だったらどうする？講演者（予定）（1）プローブカーを用いたVICIS効果計測のトライアル：（財）計量計画研究所 秋元伸裕（2）都市圏道路ネットワークにおける不完全情報下交通量配分とVICISの便益評価：名古屋大学 森川高行（3）CVM、およびネットワーク分析によるVICIS導入の価値評価：熊本大学 溝上章志（4）移動体通信によるVICIS機能の代替的交通情報提供システム：神戸大学 朝倉康夫
	VICISは生き残れるか？	
SS2	藤井聡	土木事業において、「合意形成」の必要性が認識されるようになってから久しい。その認識のもと、土木計画学では、これまでパブリック・インボルブメントやワークショップ、あるいは集団意思決定方法などの様々な技術的提案がなされてきている。しかし、そうした技術の有効性は、人々の意識に働きかけることができたときのみに保証される。故に、「合意形成」の問題に正面から取り組むためには、それが如何なる応用領域であろうとも、人々の心理、とりわけ、社会的文脈の中での心理、すなわち、社会心理を考えざるを得ない。本スペシャルセッションでは、こうした背景の下、人々の合意形成にまつわる、信頼、公正、正義等のいくつかの心理要因を手がかりとして、それらの理論的知見の実務的な含意を議論する。
	合意形成の社会心理学	
SS3	廣島康裕	●セッションの企画概要 本SSでは、「成熟社会における社会資本整備ワークショップ」（代表：岐阜大学・竹内伝史；幹事：豊橋技術科学大学・廣島康裕）におけるこれまでの議論の成果を整理するとともに、特に生活関連社会資本の整備に関連して今後取り組むべき研究課題（整備の基準、整備効果と事業評価、戦略的整備の可能性等）について議論を深めるものである。●発表予定者とその題目等：①竹内伝史：公共事業批判の構造と新しい社会資本整備の基準 ②高木朗義：生活関連社会資本の整備効果と事業評価 ③奥田隆明：国土・地域計画における戦略的持続可能性分析 ④その他（発表者・題目未
	成熟社会における社会資本整備	
SS4	奥村誠	都市間交通ネットワークの整備は、国土や地域の発展に重要な役割を果たすが、民営化の一層の推進や公共投資の効率化が求められる中、利用者の実態に即した需要予測の精緻化や政策評価手法の確立が強く求められている。本セッションは、政府やコンサルタントにおける都市間交通施策に関する実務の状況を踏まえ、その課題や問題点を議論し今後の研究課題を整理することを目的とする。さらにネットワーク整備水準の評価論に関する研究の話題提供を受け、具体的な問題点について議論を深める。プログラム（予定）は以下の通り。（1）実務～の報告a)「航空NW・SCGEモデルによる国内航空政策の評価」山口勝弘（国土交通省）土谷和之（MRI）b)「都市間旅客交通の需要予測の現状と問題点」奥村泰宏（MRI）（2）ディスカッション：今後の研究テーマと課題（3）NW評価に関する研究事例a)「都市間交通の計画課題と便益評価の視点」中川大（京大）b)「災害時の都市間物流ネットワーク・有珠山噴火時の鉄道貨物輸送」日野智（北大）c)「代替経路のサービスレベルが需要に及ぼす影響」塚井誠人（広大）（4）話題提供への質疑
	都市間交通の分析と評価の課題	
SS5	谷口栄一	最近の都市圏物流に関連して、企業においては、グローバルな経済競争の中で、効率的な物流システムの構築が必要である。また都市における交通渋滞や大気汚染などの環境問題が社会問題となっており、その原因の一つとして貨物車交通があげられる。このような困難な問題に直面して、政府の物流施策大綱の改定、各自治体における物流ビジョンの策定などの動きがあり、都市圏物流問題について、少しずつ関心を集めるようになってきた。しかし、各都市は、都市圏物流のような多数の利害関係者が関係する複雑な問題を解決し、効率的な物資流動を確保し、活力があり、かつ持続可能な都市圏物流をマネジメントする必要がある。そのために、各都市は、どのようなビジョンを持てばよいのか、またどのような政策を打ち出せばよいのか、その政策をどのように評価すればよいのか、政策立案のための官民のパートナーシップをどのような仕組みの中で確立すればよいのかということが重要な論点となる。また、政策立案のために必要となるデータおよびその収集・分析・ベンチマーキングも必要である。このような問題点について、本スペシャルセッションにおいては、官・学・業のそれぞれの立場から意見を述べ、将来の都市圏物流のビジョン・政策・官民のパートナーシップのあり方を明らかにすることを目的とする。最近では、IT（情報技術）やITS（高度道路交通システム）の開発・普及によって、都市圏物流のビジョン・政策を考える場合の可能性の範囲が広がってきている。つ
	都市圏物流に関するビジョン・政策・官民のパートナーシップ	

		<p>より、従来不可能とされていた政策や施策がITやITを活用するところにより可能となつてきている。このよつは新しい状況のなかでこのよつは政策が打ち出せるのか、経済的政策、規制に関する政策、ベストプラクティスに関する政策のそれぞれについて議論を行いたい。</p>
SS6	<p>林良嗣</p> <p>土木計画学と国際協力</p>	<p>土木計画学分野は長年にわたり都市・交通計画に関わる開発調査、技術移転、そのための人材育成に取り組んできた。今後はODA予算が削減される一方、我が国の国際貢献がさらに求められ、より効率的な技術協力の方法を考えなければならぬ。土木計画学研究委員会国際化WGでは、当分野の国際交流の将来について検討を進めているが、今回、技術協力をテーマとして2部構成によるスペシャルセッションを実施する。各セッションの話題は次のとおりである。1) 技術協力の成果と課題、研究・教育との関わり、2) 技術協力のニーズとシーズ、制度・機構、マネジメント。1)は技術協力に関わっている方、関わっていない方の双方に向けて、2)は技術協力に関わっている方、これから関わろうとされている実務担当者に向けて企画する。それぞれについて事例報告ならびにパネルディスカッションを通じ、課題の整理、今後のあり方について検討する。講演者氏名・所属:未定</p>
SS7	<p>鈴木聡士</p> <p>土木計画学の創生期と未来にむけて</p>	<p>土木計画学創生期とはどのような状況だったのか。若手研究者および学生は、その状況をほとんど伺い知ることができない。ところで、パラダイムシフトを迎えた現在、これからの土木計画学のあり方を考える上で、そのような創生期の状況や根本的理念、さらに新理論確立の考え方・背景等を知ることは、若手研究者および学生等が土木計画学の未来を考える上で、極めて有益であると思われる。そこで、土木計画学創生期にご活躍された諸先生に、土木計画学創生期の状況・理念、さらに未来の土木計画学のあるべき姿等についてご講演いただく。さらに、若手研究者および学生等とのディスカッションを通じて、未来の土木計画学について討論する。●講演者氏名北海道大学名誉教授 五十嵐 日出夫先生東京大学名誉教授 新谷 洋二先生岐阜大学名誉教授 加藤 晃先生京都大学名誉教授 佐佐木 綱先生</p>